

行政視察報告書

| | | |
|-------------------|---------|-------------------------------|
| 建設環境委員会 行政視察 | | 令和元年 7月31日(水)～8月2日(金) |
| 視察先 及び 調査事項 | さいたま市 | さいたま市自転車のまちづくり推進条例について |
| | 川越市 | ウェスタ川越における自然エネルギーの活用について |
| | 森ビル株式会社 | オンデマンド型シャトルサービス「HillsVia」について |
| | 静岡市 | 静岡市市民による自転車の安全利用の確保に関する条例について |

1. さいたま市 さいたま市自転車のまちづくり推進条例について

同条例は議員提案として制定施行されたものである。単に自転車の走行管理に留まらず、まちづくりの基本方針という意味合いを含めているのが特徴。策定に当たっては、議会内にプロジェクト会議を設置し積極的且つ丁寧な検討が重ねられている。理事者、各種関係団体（警察、PTA等）との意見調整を含め議会事務局職員の力を十二分に活用して策定されたものと言える。埼玉県自転車の安全な利用の促進に関する条例との整合性を図りながら、自転車損害保険等への加入の義務化、児童・生徒・高齢者に対してヘルメット着用を定めている。本条例を基に部局横断的に自転車に関する施策が推進されている。

《所感》

率直に議会事務局職員の存在が大変に大きいと感じた。各段階で論点整理し、プロジェクト会議（議員）が議論しやすい環境を整えている。1年での議員提案条例の制定は素晴らしい。同様のことを松本市議会として推進するためには抜本的な体制の検討が必須である。条例の内容自体はよくできていると思う。

2. 川越市 ウェスタ川越における自然エネルギーの活用について

同施設は埼玉県、川越市、民間施設が集積した複合拠点施設である。2015年3月に完成し地域住民の交流拠点となっている。

自然エネルギー施設は、①地中熱利用設備、②太陽光発電設備、③雨水利用設備がある。①では全電力使用量の約1%を削減、夏季ピーク電力の約5%をカット、②では全電力使用量の約7%を削減、夏季ピーク電力の約12%をカット、③では全使用水量の60%をまかなっている。

《所感》

今回は地中熱利用の状況を聞きたかったところであるが、設備のイニシャルコストに関しては不明確ということである。水平型の水循環方式ということで、一般的な深井戸型の不凍液循環方式と比較し大幅なコストダウンが想定されるが詳細は不明。個

人として更なる調査を進めていきたい。雨水利用については検討してもよいのではないかと思う。（新市役所庁舎、新基幹博物館、新市立病院等）

3. 森ビル株式会社 オンデマンド型シャトルサービス「HillsVia」について

同サービスはリアルタイム予約の搭乗者を全体最適のアルゴリズムによって効率的に搬送するというもの。利用者はアプリにより予約すれば、何分後にどのピックアップポイントに迎えに来るということが瞬時に分かるようになっている。従来型の予約型オンデマンドサービスとは根本的に違う。既に状況の異なる多くの海外都市での導入実績があり、都市の渋滞緩和や利用者の利便性向上に効果を上げている。それぞれの都市向けに個別のプログラムを作成し対応するというので、現在も引き合いが多くあるとのこと。約 10 週間で運用開始可能というのも魅力。

《所感》

地域公共交通の課題は待ったなしの状況、高齢社会は増々進展していく中で課題解決に向けて検討する価値は大いにあると言える。森ビルによれば、長野県の自治体からの問い合わせが最も多いとのこと。8 月中にも長野県との打ち合わせがあるということで、その際には本市とも是非とも打合せをと依頼した。真剣に検討すべきである。

4. 静岡市 静岡市市民による自転車の安全利用の確保に関する条例について

同市では地勢的にも自転車利用が多く関係する事故も多い状況であるため、継続的且つ全市的に交通安全対策を進め安全安心な生活環境を実現するための条例が必要であるとの機運が高まり、平成 28 年 12 月 13 日議決、平成 29 年 1 月 1 日施行されている。議会に同条例を検討する「検討会」を議決により設置、各会派から委員を選出、合わせて関係する 2 つの課を出席させながら進めている。

同条例に基づく取組みとして、「自転車交通安全指導員」の設置がある。自転車交通量が多いと認められる区域において、重点的かつ計画的に自転車の安全利用の啓発活動の推進に取り組むことを目的とするもの。また、当初は自転車保険の加入については「努力」であったが、令和元年 6 月議会で「義務」へ条例改正されている。

《所感》

全国的に多くの事例ができているので、本市でも取り組むことは可能と考える。特に安心ということから「自転車保険の加入」は早急に義務化が必要と思う。

令和元年 8 月 19 日

松本市議会議長 村上幸雄様

委員 近藤晴彦